 雄武町 No.184 令和5年6月号

議会だより

Contents

- ▶初議会議員構成 ————— P2-3
- ▶春の定例会（3月定例会・予算審査）— P4-6
- ▶行政報告 ————— P7
- ▶行政執行方針・教育行政執行方針— P8-9
- ▶一般質問（4名） ————— P10-13
- ▶審議結果（3月定例会・5月臨時会）— P14-16
- ▶その他採決結果・賛否の公表 ——— P17
- ▶議会日誌・あしがき ————— P18

雄武町議会が YouTube で
見られるようになりました



夏毛が凛々しいエゾユキウサギ（幌内）

令和5年第2回臨時会 初議会 議員構成

改選後、初の臨時議会が5月9日に開催され、議会構成が次のとおり決定しました。
選挙により、議長には橋詰啓史議員、副議長には嶋村義文議員がそれぞれ当選しました。



議長
橋詰 啓史



副議長
嶋村 義文

総務文教常任委員会 (5名)

○委員会の所管事項・・・総務課、財務企画課、税財管理課、教育委員会、選挙管理委員会、公平委員会、固定資産評価審査委員会、国民健康保険病院・介護老人保健施設に関する事項、監査委員所管に関する事項及び産業厚生常任委員会に属さない事項。



委員長
佐藤 寧



副委員長
高橋 誠



委員
嶋村 義文

※重複委員



委員
金田 壽夫



委員
今泉 理

産業厚生常任委員会 (5名)

○委員会の所管事項・・・住民生活課、保健福祉課、地域包括支援センター、児童センター・保育所、産業振興課、建設水道課、特別養護老人ホーム及びデイサービスセンターに関する事項、農業委員会に関する事項。



委員長
柳原 浩之



副委員長
遠藤 友宇子



委員
嶋村 義文

※重複委員



委員
溝田 昌志



委員
田中 久実

議会広報特別委員会 (4名)

特別委員会とは、常任委員会のほかに特定事件（2つ以上の常任委員会にまたがる事件もしくは特に重要な事件）を審査するために設置される委員会で、議会は条例で特別委員会を設置することができ、雄武町では議会の議決によって特別委員会を設置しています。

議会広報特別委員会は「議会だより」の編集発行を行うために設置された定数4人の特別委員会です。

委員長 **遠藤友宇子** 副委員長 **田中 久実**
委員 **佐藤 寧** 委員 **今泉 理**

紋別地区消防組合議会 (2名)

議員 **金田 壽夫** 議員 **高橋 誠**

西紋別地区環境衛生施設組合議会 (2名)

議員 **溝田 昌志** 議員 **今泉 理**

広域紋別病院企業団議会 (1名)

議員 **柳原 浩之**

議会運営委員会 (4名)

円滑な議会の運営を行うために、議会運営全般について協議し、意見調整を図る場として設置された委員会です。

委員長 **溝田 昌志** 副委員長 **佐藤 寧**
委員 **嶋村 義文** 委員 **柳原 浩之**

議員選出監査委員 (1名)

監査委員は地方公共団体に置かれる、長から独立した執行機関です。他の委員会と異なり、各委員が単独で職務を執行することができる独任制の機関ですが、監査報告や監査意見等を提出するときは委員の合議により決定します。

雄武町の監査委員の定数は2人で、議員のうちから選任される委員（議選委員）と、人格が高潔で優れた識見を有する者から選任される委員（識見委員・近江谷春夫氏）で構成されています。

監査委員 **金田 壽夫**

会 報 告

令和5年度 予算審査特別委員会 委員長報告（要約）

予算関連議案5件、一般会計61億3900万円、特別会計と企業会計との合計33億8564万5千円、総額95億2464万5千円の予算案9件についての審査を終了し、採決の結果「原案可決すべきものと決定しました。特に意見の多かつた事項について次のとおり意見を付します。

〔審査意見〕

① 雄武町国民健康保険病院の運営について

毎年、一般会計から多額の繰入金により病院運営を行っているが、町財政を圧迫している状況である。しかしながら、自治体直営病院として町民が享受すべき医療サービスを提供することは必要不可欠であるので、4月から常勤医師2名体制となることから、職員一丸となって病院の健全経営に向けた意識改革と接遇を改善され、町民が安心して受診できるための体制づくりに鋭意努力されたい。

② 防災行政無線の戸別受信機等の配置について

本年2月に公表された津波浸水想定では、オホーツク沿岸で発生する地震における津波の想定水位では雄武町が最も高い。しかし、雄武町の防災行政無線は、屋内では聞き取りにくく、災害により避難行動の開始が遅れることが懸念される。自治会における自主防災組織設置に向けた行政の取組は評価するが、戸別受信機の配置など、防災体制対応を早急に確立されたい。

③ 森林環境譲与税を活用した林業振興について

令和2年度から森林環境譲与税を活用した諸々の事業を展開しているが、今後、ゼロカーボン社会の推進に向け、適切な管理が行われていない人工林の未整備森林の減少に努め、伐採期を迎えた森林の伐採を適期更新することが重要であり、また、伐採後の林地残材を活用した木質バイオマスの調査研究が進むことを期待する。

令和5年3月16日

予算審査特別委員会
委員長 溝田 昌志

令和5年度 各会計の当初予算

会計名		予算額	前年比
一般会計		61億3900万円	△2億3800万円
特別会計	国民健康保険	7億2875万9千円	1450万円
	簡易水道	3億1054万円	△245万円
	公共下水道	6億1423万円	1141万円
	介護保険	5億2779万円	17万1千円
	介護サービス	5575万4千円	1118万6千円
	後期高齢者医療	8053万9千円	557万円
	介護老人保健施設	1億7546万6千円	2229万6千円
国民健康保険病院事業会計(*)		8億9256万7千円	1413万5千円
合計		95億2464万5千円	△1億6118万2千円

【一般会計】

町税、地方交付税、国庫補助金など税金をおもな収入源として町民に関わる経費を賄う会計

【特別会計】

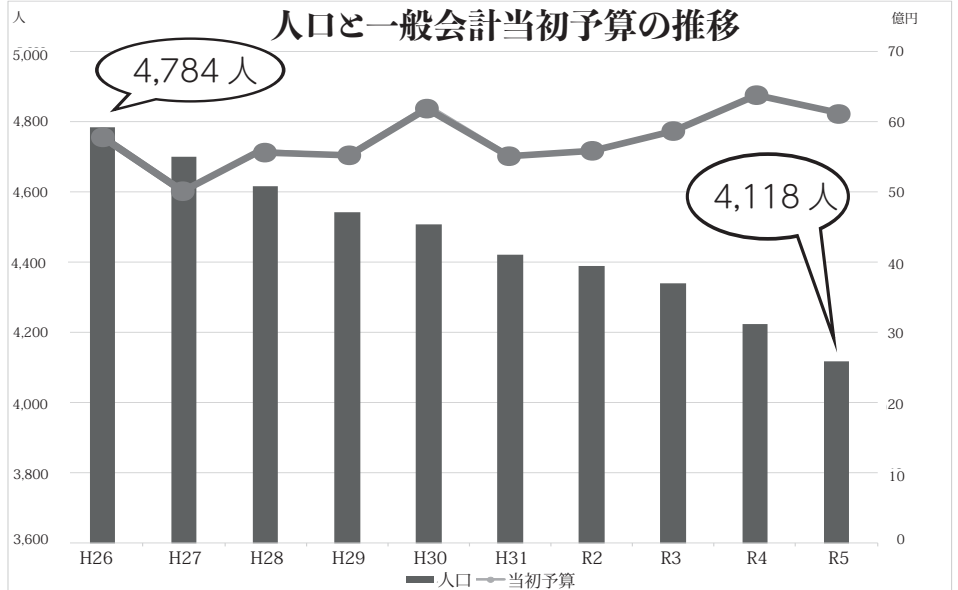
水道や下水道、国民健康保険など利益を受ける人たちがそれに関わる経費を負担する会計

*企業会計（国民健康保険病院事業会計）の額は収益的支出と資本的支出の合計額

春の定例

3月7～16日（10日間） 審議内容

- 行政報告（町長）
- 行政事務報告（副町長）
- 教育行政報告（教育長）
- 各会計補正予算 14 件
- 条例制定・改正 10 件
- その他議案 4 件
- 町行政執行方針
- 教育行政執行方針
- 令和 5 年度各会計予算 9 件
- 令和 5 年度予算関連議案 5 件
- ※上記 2 件一括上程
- 一般質問（4 名）
- 予算審査特別委員会（2 日間）
- 予算審査特別委員長報告



※少子化と高齢化が急速に進む日本は先進国に先がけ「人口減少時代」に突入しています。我が町の人口減少もその現れであると考えられますが、一方、公共サービスの細分化と増加、公共施設の老朽化対策や社会保障関係経費の増加などのため、一般会計予算は年々増加傾向にあると分析できます。

予算審査にかかる質疑応答

●ハイヤー券・入浴券について●

柳原 給付方法が変わったので確認したい。昨年度まで自ら申し込んで利用していた人は、令和 5 年度は役場のほうから郵送するという認識でよいか。

社会福祉係長 はい。毎年申請いただいていた令和 4 年度の申請内容を、令和 5 年度に引き継いで交付するという。令和 4 年度に申請いただいた方は、令和 5 年度に申請いただかなくても役場から郵送する。（補足※新規に申し込む場合は役場に申請にいかなくてはなりません。）

●マイナンバーカードについて●

佐藤 マイナンバーカードの今後の活用方法について課内でどういった話し合いがなされているか。

住民生活課長 戸籍や住民票等のコンビニ取得など、令和 6 年を目途にそういったサービスも取り入れたい。

●教育委員会タブレット端末に関して●

佐藤 学習用端末保守料 155 万 1000 円、中学校 85 万 8000 円は毎年更新にかかる費用か。

教育振興課長 故障対応のほか各種設定等の運用保守費用であり、毎年かかる費用となっている。

●地域おこし協力隊について●

遠藤 町としては地域おこし協力隊に、どう働きをしてくれる人材を募集しているか。

企画調整係長 地域の活動支援員、商工会「ひので丸」の地域の拠点活動支援員、観光協会の観光支援員、教育委員会の学校 I C T 支援員、この 4 職種 4 名を今年度募集している。

●学校給食に関して●

遠藤 来年度からパンや麺の提供を増やすという説明があったがお子さんやお母さん達の声を聞いての対応か。どういう経緯か。

学校給食センター所長 昨年の秋に、児童生徒及び保護者に対しアンケート調査を行っており、その中でパンや麺の要望も多かった。今までは 1 週間のうち、米飯給食を 4 日で 1 日がパン、麺について隔週で提供していた。4 年度に栄養教諭の方も代わって食育の推進ということで、いろいろな献立・食材を子供たちに経験してほしいということがある。給食センターや給食センターの運営協議会でも協議し、そういう方針になった。

次ページにつづく

予算審査にかかる質疑応答

●農業担い手対策協議会負担金●

嶋村 北オホーツク農業担い手対策協議会負担金200万円をずっと負担しているが離農の話が随分出始めている。現在の担い手対策は。

産業振興課長補佐 担い手対策協議会の活動は続けており、令和5年度は研修牧場で夫婦1組、個人2名の研修を予定している。町内の酪農家で、経営継承が行われるところも研修している。令和5年度中に1件辞める予定のところ今年1件入る見込みがあり、数十年ぶりに新規就農が行われるような計画となっている。

●藻場造成の必要性●

佐藤 カーボンニュートラル、脱炭素につながっていくが、雄武の海は藻場(※1)造成の必要性が今考えられるのか。海は荒れてきているのか。

水産係長 全道的に磯焼け(※2)が進んでいると思われる。昨年も昆布が非常に薄く、それも磯焼けなのかと思われる。令和5年で、開発局と連携して元稲府漁港の藻場の調査を実施する。調査期間は2年から3年。また道営事業でウニの囲い礁(※3)を整備する。昆布を繁茂させるための施設となることからブルーカーボン(※4)に効果があるか、バックデータ(過去の資料)を作るための事業を令和5年から実施する予定。

(※1) 藻場

沿岸域の海底で、海草(種子植物)や海藻(孢子植物)が生い茂る場所。プランクトンが多く、魚も多い。

(※2) 磯焼け

藻場から海藻が減ったり生えなかつたりして、藻場が減少・消失すること。沿岸地域の生態系に影響し、漁獲量にも影響する。



(※3) 囲い礁

自然の石材を海底に設置して、動かないようにコンクリートブロックで囲った施設。石材に海藻が繁茂する。

(※4) ブルーカーボン

海洋生態系に蓄積される炭素のこと。海草や海が生長する時、海の中で二酸化炭素を吸収する。海の豊かさを取り戻しながら、海の生態系が吸収・固定するCO2を増やすことで、温暖化対策にもつながることから注目されている。

●雄武町観光協会の補助金●

長野 雄武町観光協会の職員給与額は今、ほかのところと比べて遜色ないのか。

商工観光係長 事業も多くなってきて、それに見合った部分で昇給させたいとの申し出はある。

長野 観光協会の方々の給与は低い。そういう中でモチベーションが上がるのかと危惧している。いずれそういう要請が上がってきた時に対応が可能なのか。

町長 要請があれば検討していきたい。

●国保病院予算について●

嶋村 事務方としては大変つらい予算編成。令和4年度の収益は2億6400万円しかない。令和5年度の医業収益の見込み3億5300万円とは9000万円近くの差がある。実態に即した予算を町民に示し、病院の事業会計が大変な状況であることを示さないと問題解決にならない。町長としてこの予算の組み方でいいと思っているのか。

町長 この予算の組み方が決まっているとは思っていない。現実的な努力を今しているところ。4月1日から内科医師が来られるので、ある程度収支改善はされていくと考える。

●フォーネスビジュアルス検査●

柳原 熊本県荒尾市が1億円をかけてフォーネスビジュアルス検査(※)を行うと聞いた。雄武町でもこのような取組があるのか、また将来考えているのか。荒尾市で1億円なので、本町においてはもっと低くできると思う。非常に画期的なシステムであることから検討してほしい。

福祉給付課長 健康推進課と勉強をさせていただき、町でできることがあれば、実施するのか、助成するのか、その辺を検討させていただきたい。

(※) フォーネスビジュアルス検査

血液を少量(5cc)採るだけで将来の病気を予測できる疾病リスク予測検査のこと。認知症や心筋梗塞・脳卒中、肺がん、耐糖能・肝臓脂肪などの「疾病リスク予測」と「定期健診AI分析」を行うことで、自身の“今”と“将来”の健康状態、疾病リスクをわかりやすく可視化する。



◎オホーツク海沿岸の津波浸水想定について

令和5年2月1日に北海道が公表したオホーツク海沿岸の津波浸水想定では、雄武町沿岸の最も高い場所です津波の高さが10メートルと想定された。また2月20日には、新たな津波浸水想定区域も公表された。

浸水想定区域に大きな変化はなく、現時点においては主要公共施設や避難所が新たな浸水想定区域に含まれる箇所はない。

今後の対策

- 1 新たな津波ハザードマップ等による住民周知
 - 2 自主防災組織のさらなる設置促進
 - 3 津波を想定した避難訓練の実施
 - 4 海岸保全に関する関係機関への働きかけ
- 以上4項目を基本とした対策を推進し、町民の災害に対する意識の向上や備えの充実に努めていきたい。

◎新型コロナウイルス感染症対策について

・雄武町での新規感染者数 (北海道発表)
令和4年12月6日(令和5年2月27日) 計25人
・対策本部会議開催状況
計4回開催

雄武町の
新型コロナワクチン接種率
(令和5年2月28日現在)

区分	65歳以上	12~64歳	合計
オミクロン株対応ワクチン接種者	82.1%	61.7%	69.8%
接種人数	1,097人	1,266人	2,363人

◎公務災害事案に係る損害賠償請求について

・令和5年1月27日
本町の代理人弁護士を通じて札幌地方裁判所から訴状が届く。

請求額

821万78556円
※半年から1年以内の解決が見込まれる。

行政報告等にかかる質疑応答

嶋村 年間の救急出動が234件と多い。不安を持っている方がいるが、直接二次救急のほうに搬送した例があるのか。

総務課長 消防の救急出動は紋別地区の消防組合内でも増加傾向にあり、組合発足から過去最多の1826件となった。新型コロナウイルスで自家用車を持たない発熱患者の搬送が増えたことが要因と消防では分析している。直接搬送は広域紋別病院5件、名寄市立病院及び遠軽厚生病院が各1件、合計7件。

柳原 新型コロナウイルスに関する国の全数把握見直し以降、町として積極的な収集の方法はないのか。

新型コロナウイルス感染症対策室長 把握できるのは発生届の対象者のみで、町では精度の高い数字を残念ながら持ち合わせていない。

柳原 いつまでワクチン接種を行う考えなのか。

新型コロナウイルス感染症対策室長 接種期間は令和5年度末まで1年間延長になり、春から夏にかけて高齢者や基礎疾患のある方、医療従事者を対象に1回、秋から冬にかけて対象となる方全員に1回接種する予定となっている。

詳細はまだ示されていないが、初回接種(1・2回目接種)を終えられている方については、殆どが秋冬接種の対象になると考えている。

遠藤 津波の想定に関して、浸水想定区域に大きな変化はないというが、町民の方は新聞の報道等を聞いて非常に心配されている。もう少し町長の声として皆様に周知することがないのか。

住民生活課長 まず正確な情報として新たな津波のハザードマップを作成して令和5年度内には外国人を含む全町民に周知を図りたい。自主防災組織の設置を現状の7自治会に加え、今後は特に海沿いの自治会を中心に働きかけていきたい。津波から身を守るような避難訓練の実施や、町内で津波10メートルといった地点について海岸の保全、護岸要望等を働きかけていきたい。

佐藤 新型コロナによる学級閉鎖が3月にあった。学校側から出た学級閉鎖の連絡が保護者に届いたのは夜の7時と聞いた。これは非常に危険な状態。なぜ学校側は電話で保護者に対してその旨を伝えることができなかったのか。もし犯罪に巻き込まれた場合には大問題に発展する。同じような内容を昨年12月定例会でも質問したが、教育委員会、学校はどこまで重く受け止めているのか。

教育長 12月に議員が指摘した関係は即、校長会を開きその旨を伝えました。学級閉鎖が決まった時点で連絡をするよう伝え、各学校はそれに納得していました。今回の情報は私も聞いています。教頭に事情を聞き、厳重に注意しました。謝罪文も流しており、今後も様子を見ていきたいと思っています。

柳原 町民が安心して住み続けていくために常勤医師の確保が最重要課題と考えていると聞いている。

はたしてそれだけで町民が安心して住み続けていけるのか。

国保病院で対応できない場合の、車を持たない方たちが二次医療機関などへ通院できる体制を取ることの重要性についてどのようにお考えか。

町長 言われたとおり常勤医師がいるだけではダメで、医療従事者も含め全体で物事を考えるべきだと思っている。

一次医療を国保病院できちんと対応することが非常に大切であり、そのうえで二次医療機関などへのバスなども考慮すべきだと考える。

町民の安心安全を考えると常勤医師の確保は非常に大切であり、そのうえで看護師も含めた改革が必要と考えている。

溝田 医師確保については町長も探すのに苦労している。いつもどのように人選を行っているのか。

町長 大学の医師や医学生、保健師、看護師等の交流も逐次行って、そのつながりを持ってやっていきたい。少しずつ前に進んでいる。

遠藤 昨年閉校された豊丘小学校や、今後廃校となる共栄小学校の廃校利用について執行方針で述べられていないが考えは。

教育長 豊丘については今の備品等を処分している最中。普通財産(※)に戻して考えていく。

共栄についても今後同じような形でやっていく考え。なんとか早めに決断したい。

執行方針の中に取り入れなかったのは具体的なことがまだ進みづらいため。

(※) 行政財産と普通財産

・行政財産

町が直接使うものや、町民が共同利用するためのもの。原則として貸したり売ったりすることはできない。

・普通財産

行政財産以外の財産。貸したり売ったりすることができる。

質疑応答

遠藤 SDGsを踏まえたESD(持続可能な開発のための教育)の推進とは。

教育長 SDGsのうち教育に関することとしてESDがある。持続可能な社会の担い手を育てるために地球規模の課題を自分のこととしてとらえ、その解決に向けて自分で考え行動をこちらから見つけるための教育である。



目標を達成するにはまず教育が大切で、それは全てそれに特化し、つながって関わってくる。各教科においてそういうものを意識的に取り入れていくよう学校に促していく。

遠藤 部活動の地域移行の推進について、現在の検討内容は。

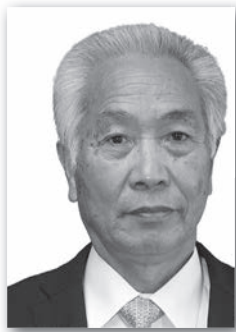
教育長 部活動については全国的な問題になっており、スポーツ庁において地域の団体に任せるよう各地域で考えなさいと言っている。

本町の場合は団体や指導者が少なく、スポーツ人口は年々減少を続け、高齢化も進み、部活動を引き受けていただくことは非常に難しい。今後どうすべきかを考える必要がある。

今のところ広域でやってはという話もあるが、相手のあることで話をしなければならない。1年かけて具体的に何ができるか探っていく。



豊田教育長 教育行政執行方針



質疑応答

石井町長 行政執行方針

嶋村 日の出岬エリアを核とした体験滞在型観光の推進という記述があるが、ほぼ3、4年同じような記述がある。

あまり進展がないが、町長の認識は。

町長 昨年度はモニターツアーを実施し、今年度中に成果が出る。

マスタープランも今年度で一区切りであり、今年度は今後どういう体験や滞在ができるのか観光協会とも連携しながら再度検討していきたい。



柳原 戸別受信機（※）についての行政としての考え方は。

住民生活課長 昨年1年間検討があまり進まなかった。戸別受信機を全戸配布すると莫大な費用がかかるので、イメージとしてはスマートフォンの普及に合わせて防災無線と連動するようなアプリケーションを利用していただくとか、スマートフォンをお持ちではない町民に対しては携帯電話が利用できるエリアで受信可能な戸別受信機などを希望に応じて配布できるよう、検討を進めていきたいと考えている。

（※）戸別受信機

防災行政無線を聞くために住民宅各戸に設置する機械。天候や停電に左右されることなく防災行政無線が聞ける。無線が聞き取りにくい地域では特に有効。



その反面、電池交換など各戸で機械を管理することが必要になる。1台当たりの価格は高価になる。

溝田 観光マスタープラン（※）について「着実に実行する実現戦略」とはどのようなものか。

産業振興課長 現在の観光マスタープランでは実現戦略として10点の戦略を上げている。体験型観光やイベントの充実、施設の改修やPRといった内容になる。

現在、新しいプランはできていないが、2月8日に委員会を開催して検証を行っている。

皆から意見を集約して、それを基に新しいプランを作る。できるだけ早い時期に作成したい。

（※）マスタープラン

他の計画の上位に位置づけられる、総合的な計画のこと。

嶋村 今ある道の駅（※）の在り方には問題があると思う。以前一般質問での答弁で町長自身も同じ認識だった。

隣にあるエコープは開設して20年以上経過して、売り上げももう半分以下に落ちている。農協の幹部も非常に危機感を持っており、売り上げに見合った店舗面積にしたい考え。

削減する面積の一部を道の駅の機能として活用できないか町長に伺った経緯があり、町長は答弁で「早急に組合長と話し合いたい」と言っていた。その後の進展は。

町長 昨年度、道の駅の再生を考え、茨城県境町へ視察を計画していたがコロナで中止となった。今年5月に再度視察を予定している。市街地の再生も含めて検討していきたい。

農協の組合長への話はこちらのほうが煮詰まったら話をする予定。

（※）道の駅

・休憩機能

24時間利用できる駐車場やトイレ

・情報提供機能

道路情報、観光情報など

・地域連携機能

観光レクリエーション施設など

上記3つの機能を持ち合わせた休憩施設。

市町村長から国土交通省道路局に申請することで登録される公的スポット。

町として病院に関する公聴会をどのように考えているか

公聴会という形でなく5月に町民との

懇談会を予定している（町長）

雄武町国民健康保険病院
について

常勤医師2名確保を公約に掲げ当選したことから、常勤医師に固執しているように思うが今後の方向性は。

町長 北海道の3大学に確認したが、二次医療機関に常勤医師派遣は無理であり、関東の大学付属病院の准教授とお会いし、大学病院とのつながりを持ち、継続した常勤医師派遣による切れ目ない診療体制の構築に向け話し合っている。

平成19年に国保病院経営健全化に関する調査をしているが報告書を見たことはありますか。

町長 見たことがございません。

その中で国保病院経営に関する問題点を8つ挙げてい

ます。町民は、国保病院の診療に対する期待を諦めていることや辺地医療に情熱を燃やし病院の在り方を考える医師が確保されなかったこと等を町長はどのように感じていますか。

町長 町長になって間もなくコロナ禍になり取り組めなかったが、今後は町民から信頼される病院改革を進めていきたい。

町として公聴会をどのように考えていますか。

町長 病院運営委員会でも話したが公聴会という形ではなく、5月に町民との懇談会を今予定している。

第6期雄武町総合計画の後期実施計画について

後期基本計画の策定方針が示され、実施計画は町政の

具体的な計画であり、施策を実現するため実施する事業を示すとあります。行政の考える具体的な実施計画とは。

財務企画課長 実施計画は基本計画に定めた施策を具現化するための政策事業を記載しており、策定時点で分かる範囲とならざるを得ず一部具体性に欠けるものもある。

総合計画を10年スパンで考えると時代にマッチしない。考え方を変える過渡期では。

財務企画課長 非常に難しい面があるが、計画期間については今後検討していく必要がある。

防災行政無線の運用について

昨年12月に雄武町全体が停電になる事象が発生し、行政は各種情報発信をしたが防災無線が聞き取りにくかった

という話を聞きました。今後の対策等は。

住民生活課長 合計で11回無線放送の運用を図り、冬場の特性から聞き取りにくいとの声はあった。聞き逃した場合の電話確認サービスのPRや5年度以降、防災通信機器の多重化調査検討を行い、確実に災害情報を伝達できる仕組みの構築に努めていきたい。

町職員の時間外勤務について

時間外労働は働き方改革関連法案に基づき原則として月、年の労働時間がそれぞれ定められていますが、基準を超えて勤務しなければならな

い理由と対策は。

総務課長 令和3年、4年それぞれ3名が基準を超えて勤務したが、勤怠管理システムにより正確に把握できており、超過傾向にある職員がいた場合は所属長に確認し、その原因が部署か職員個々かなどを確認し超過勤務の削減、解消を図るよう対応している。

※この他、家計応援券について、行政執行方針についてを質問しています。



防災無線
電話確認サービス
84-2523

やなぎはら ひろゆき
柳原 浩之 議員



**雄武町オホーツク紋別空港
利用促進助成事業について**

— 助成金申請者に対して交付決定通知書を郵送しているが、年間の郵便費用の平均値は。

財務企画課長 町内の市街地はノースクリエイト事業協同組合が配達し、郵便料がかからない。通知書の郵送費用の直近3年間の平均値は5万1156円。令和2年度と3年度は新型コロナウイルス拡大の影響を受け、助成金の交付決定者が減少している。

— 交付決定通知書を郵送からメールやショートメールなどの配信に変えれば、費用が節約できるが。

財務企画課長 業務量の増加とメールアドレスの入力間違いにより情報漏えいのリスクが伴うので、メールでの配信

は難しい。経費削減の提案をいただいたので、振込日を毎月固定させることを交付決定書に記載し、助成金の振込をもって交付決定通知書を省略し、経費削減と事務の省力化も図っていきたい。

学校生活における生理用品無料配布について

— 道教委は令和5年度から道立学校全256校に生理用品を配置することを決定した。道教委の倉本教育長は、生理用品の配置は子ども達が心身の健康を維持し、安心して学校生活を送るための環境整備の一環として必要と述べたが、雄武町はそれを小中学校まで広げる考えはないのか。

教育長 道立学校が実施をやるんと言いつつ。そしてそれを各市町村立学校に求めていくのであれば、今後広がっていくことが想定でき、それが

一般的なものになれば雄武町も置く必要があると思っっている。課題を整理した上で配置を検討したい。

— 私が考えるのは、近隣の市町村や道教委がやるから、うちの町もそれに倣っていくというよりは、積極的に前向きに取り組んでいただきたい。教職員や生徒・保護者とのコミュニケーションを取っていくことが、必ず学校の良い運営につながるっていく。

雄武町の医療費削減への取り組みについて

— 今後、高齢化が進む町において自治体が抱える医療費削減という課題解決のための方向性は。

福祉給付課長 町の方向性としては、引き続き特定健診特定保健指導事業を柱とした各種保健事業を進めていく。ま

た、国民健康保険においてはレセプト(※)点検業務や医療費、後発医薬品使用促進通知を行い、令和5年度からは新たに服薬情報の通知を行う予定。介護保険については健康寿命を延ばすための介護予防事業を進めていきたい。(※)レセプト：医療費のレシートのようなもの。

— 福祉給付課、健康推進課、地域包括支援センター、国保病院がどこまで密な連絡をとって町民の健康増進に努めているかを確認したい。

福祉給付課長 特定健診特定保健指導事業については、保険者の実施が義務付けられていることから、国民健康保険被保険者に対しては、保険者である町が実施している。事業については福祉給付課

保険給付係が所管しており、これまでも健康推進課や地域包括支援センター、町内の医療機関、歯科医院に協力いただきながら実施している。役割としては、健康推進課は医療機関との調整、健診業務の補助、地域包括支援センターは訪問時における高齢者や介護家族への受診勧奨と健診申込みのサポート。医療機関や歯科医院は健診業務への従事とともに、町民への受診勧奨を行っていただいている。保険給付係は受診券の発送や健診業務の受付の他、主に補助金の申請など事務的な部分を担っている。

生理用品の配置を小中学校まで広げる考えはないのか

課題を整理した上で配置を検討したい(教育長)



さとう やすし
佐藤 寧 議員



議会議画配信(一般質問)はQRコードからアクセスできます

雄武町の地域医療のあるべき姿について町長の認識は

町民が安心して医療を受けられる体制の確保に努める（町長）

雄武町の地域医療について

— 国保病院の運営の改革については病院運営委員会で議論を進めていくという町長の考えです。本年開催された運営委員会の議事概要を確認すると「せっかく常勤で来てくれた平岡医師が結果退職した。本当に医師の確保に努めているのか疑問。」という問いに町長は「平岡医師は町民から信頼もあったようだが内

と外では印象が違う部分もあったようで、契約を更新しない結果となった。」と答えています。さらに「診療報酬が減額になっている。院長自体に問題があるのでは。」「医療収入が減額となり経費が増額となると一般企業は経営が立ちいかなくなる。なにか対策はあるか。」「には院長が「病院の収益は人口に関わる部分もあり、人口が減少すると病院の収益も減る。町として人

□減少を止めることも必要なので、そのためにどうすべきか考えていただきたい。」と答えています。「という論理は成り立つと思いますか。減っているのは信頼感が欠如された結果、病院収益が減っているので人口減少に置き換える院長の経営感覚が全くなっていない。会議に出席していて反論もしてないんですか。」

— 財政計画自体に違和感を覚えるが。

町長 人口減少だけでなく色々な病院の不信感があるというところで院長にはその時は話していないけれども、会議後に話はしております。

— 病院運営委員会の質疑でなぜ計画と実績に大幅な狂いが生じるのかの問いに、当初から大幅な赤字の予算を組むわけにいかないのだから、こういった差が生じると答えています。本来は収入・支出を精査し事業計画を組むのが本来の姿と思うが。

町長 会議の時間に患者さんの診療が入り、出られないこともある。

病院事務長 令和4年度の繰入金の補正について議員の皆さんに説明した際にも、最初から厳しい予算の組み方ではないのかという、ごもつとも



しまむら よしふみ
嶋村 義文 議員



のお話もございました。今回はかなり支出の方も縮減した中で、令和5年度については予算組みました。議員の指摘については真摯に受け止めたいと考えてます。

— 令和4年度の病院会計の事業繰入金の見込みが4億8千万円です。病院の現状の生の数字を町民に示すべきだと思います。「現状では外来・入院収益はこの程度しか想定できません」と町民に国保病院会計の生の数字を示し、病院の改革をどのように進めていくのか全町的な議論にしていかなければ、いつまでも尾を引くと思うが。

町長 事務長も話したとおり非常に苦しい予算の立て方です。改革をより強く行きます。真剣に取り組んで行きたいと思っております。

※そのほか、町内酪農経営の危機的状況に対する町の対応について、森林環境譲与税を活用した林業振興及び町有林面積の拡大について町の考えを質問しました。

教育行政について

町長は文教地区基本構想にどのようなイメージを持っているのか。

町長 まずは小学校と中学校を一体的に建設するイメージです。小中一貫校か義務教育学校か、それに加えてスポーツセンターをはじめ、武道館等々の教育施設の部分も一体的に整備していく考えです。

教育長の頭の中で、小中一貫校のシステムあつての話か。

教育長 確実にやることは決まっていますが、現実的には私は小中一貫校の方向で考えています。

文教地区構想は壮大なことだと思ふ。どの小中学校も築40年を超える中、スピード感を持つ考えもあるが、かな

り年数を要すると思う。今の小中学校をどうするかに特化してやったほうがいい。沢木の児童数は令和5年で29名だが10年後には21名に減ると予測されているが。

教育長 小さな学校ほど教育効果が高い、というのは私の持論。できれば潰したくないが、いかにせん限界はある。沢木は減少が一定程度の数になった時には相談をしなければと思っています。

一番大事なのは沢木の地域の考え方と保護者の考え方。教育委員会の考え方とまわっていかない白紙の時期で、廃校の話は投げられない。

教育長 新たな学校制度を決める前段で、沢木の気持ちも組入れた中で構築していかなければならぬと思っております。沢木小学校は地域の方が

協力をしっかりされた理想的な学校だと思いますが、将来を見越した学校の在り方というものを共に考えていかなければならず、構想策定段階で、沢木の皆さんとお話をしていきたいと考えています。

壮大な文教地区総合計画になっていくと、財政的に持つのかという話になる。

教育長 スポーツセンターは学校が建つとしばらく建たないと思います。学校の体育館を一般の町民に開放できるように建て方もひとつの方法です。

予算を持つ町と教育委員会とで、小中一貫校の議論の方向を示しながら進んでいくと良いのではないかと。いずれにしても沢木小学校をどうするのかは大前提になる。一方で学校がなくなると何となしに寂れていくのも現実。

を上げるには看護師不足がネックになっている。

町長 看護師は実際足りませんが。確保に全力を挙げます。

病院通院支援（高速医療バス）は前の予算委員会で消えたと思ったのがいつの間にかまた試験運行をやるという話になっている。非常にハードルが高い話で、議会も困惑している。町村間の審議というのがある。仕切りなおしたほうがいいのでは。早い段階で町長が結論を出すべき。担当している課や作り上げていく関係がかなり大変。

町長 完全に実施していくという部分には至っていない。試験運行してどうなのかを含めて今後検討していきます。

町長が測量仕事をしてい

るといふ町民の話がある。

町長 町民からも誤解を招く恐れがあると考え、今後は町から石井測量設計株式会社に対する発注に係る会社の業務については、私は一切行わないこととします。大変申し訳ありませんでした。

町長の任期は9月まで、町長選への出馬はまだ考えていないと言つが今も変わらないか。

町長 考え方は変わっていません。

※その他、病院の操出金について、ホテル日の出岬について、人口減少対策について質問を行いました。

築40年超の小中学校、今後の考えは

小中一貫校の方向で考えている（教育長）

町長の選挙公約について

医師問題はだれが町長になっても苦勞する。病院収益



ながの 誠 議員
まこと



議会動画配信（一般質問）はQRコードからアクセスできます



3月 定例会 審議結果

一般会計補正予算 (第12号) 【主な内容】

- ・森林環境譲与税活用事業助成金 Δ 590万6千円
- ・町有林素材売払収入【歳入】 886万7千円
- ・除雪業務委託料 3300万円
- ・ほたて漁場貝殻散布事業補助金 Δ 200万円
- ・ホテル日の出岬雇用維持・経営安定化対策費補助金 2500万円

森林環境譲与税

Q 嶋村 森林環境譲与税を使った交付金387万円、助成金が590万円それぞれ減額されている。これらが実行されなかった理由は。

A 産業振興課長補佐 運搬費の補助額500万円減、ICT化事業で森林組合のソフト購入費100万円減、被害調査100万円減、路網管理120万円減など、全体的に当初の計画から事業が減ったのが要因。

町有林売り払い素材収入

Q 嶋村 町有林共有林の素材売り払い収入が860万円ほど増加している。これは材積が増えたのか、材の単価が増えたのか。

A 産業振興課長 材積が増えたこともあるが、当初パルプ材を予定していたものが、一般材の割合が増えた。



除排雪事業

Q 柳原 ダム施設点検整備等委託料に除雪費がかかるとの増額だが、最終処分場からダムに行くまでの除雪費にこのような金額がかかるのか。

A 産業振興課長 これまでの実績と今後の見込み量で積算している。例えば年末の停電時など、雪が多い時に急遽点検が必要になる場合があり、今回は車両をロータリーに変えた関係で単価も上がっている。3月までの見込みを考えて増額している。

Q 遠藤 冬季就労対策除排雪委託料、道路維持に関する除雪事業委託料はそれぞれ稼働実績と見込みにより増になると説明があった。行政事務報告によると除雪日数も除雪時間も減っているが。

A 産業振興課長、建設課長 行政事務報告は1月分までの実績、それ以降の見込みや前年度等の稼働を見込み増額している。

保育所通所車両安全装置

Q 遠藤 保育所通所車両安全装置購入の具体的な内容は、実際に通所車両を使用されている保護者への周知は行っているのか。

A 保育所長 沢木方面、幌内方面の送迎バス2台に安全装置を設置するもの。補助金があるため持ち出しは発生しない。安全装置はエンジン停止後10分程度で車内向けに警報が鳴り、さらに時間が過ぎると車外に警報が鳴るもの。年度内に契約を行い、4月1日以降の設置に向けて進めている。令和5年度入所児童で乗車予定の保護者には個別に話をする。

ホタテ漁場貝殻散布事業

Q 嶋村 ホタテ漁場貝殻散布事業補助金、事業を実施しなかった理由は。

A 産業振興課長 この時に稚貝放流開始の前倒し、前年の不要魚礁の撤去期間の延長があったことにより、漁組からの要請を受け事業を見送った。



ホテル日の出岬（雄武町観光開発株）

◎柳原 ホテル日の出岬へは支援や基金繰り入れなどで今までも相当の費用がかかっている中、指定管理者である雄武町観光開発株式会社から雇用の維持並びに経営の安定化を図るための支援要望が出された。この会社の社長は今も町長であり、町長からの要望であれば何かすんなり通っているような気がする。

今回の補正のうち5500万円がホテル日の出岬の関係。いろいろなイベント等がなくなって抑えられたはずの予算は、雄武町観光開発からの要請によってホテル日の出岬に充当されている。非常に問題なのではないか。

▲町長 ホテルは建設してから25年が経過しており、いろいろと改修もある。ホテルとしても社員と話しながら努力をしている。

10月までは非常にプラスだったが11月以降が極端に下がった。国の方針が変わり、12月くらいには宴会は7割くらい回復すると思っている。部屋の改修で宿泊費の値上げも考えている。企業努力をしていきたい。

提言 柳原 雄武町観光開発は第三セクター、一応株式会社である。利益を追求するためにはしっかりしたコンサル系の外部監査役を入れるべき。町として福祉の部分でも支援するには必要な経費を出さなければいけないと思う。社長が町長であるから、その辺も含めてしっかり今後の体制を作っていただきたい。

ホテルが一生懸命やっているのは私も重々承知している。自助努力をするためにもしっかりと監査役がいないと、なかなか経営というのは上手くいかないと思う。



◎遠藤 ホテル日の出岬雇用維持経営安定化対策補助金2500万円、燃料費高騰のためと説明があった。収入増になるための取り組みや具体的に必要な案は。

▲税財管理課長 令和4年度の計画はマイナス981万8千円からスタートしている。10月末時点では当初計画よりも収支が349万1千円上回り、当初の赤字がある程度圧縮できる希望があった。

しかし11月には11日間の大浴場・エレベーター改修による宿泊と入浴の休止、北海道全体のコロナ感染状況の悪化などがあり、宴会も思ったほどに伸びず、当初の予定をかなり下回る収支となった。それに加えて電力費の高騰による管理経費の上昇で、今期決算は当初計画を大幅に下回るマイナス2511万8千円の収支見込みとなっている。

具体的な改善策は今までと同じく「宿泊単価や客室単価を上げていく」「レストラン喫食率を上げて利用全体を上げていく」「宴会利用を上げていく」「不採算部門の営業中止」の4点。

提言 長野 観光開発の社長イコール雄武町長、その質問があった時には町長自ら答弁すべき。ホテルは以前から増資をしてぐんぐん抜けてきている。令和2年には4800万円、令和3年には2300万円。町長の言うとおりにコロナ禍だということもホテルがそれなりに努力をしていることも十分承知しているが、町民サイドから見ると「なれ合い」でやっているのかと思う。

町長が社長であることを町民は見ている。担当課長に答弁をさせるのではなく、いち早く町長から事情を説明して、やっぱり結果としては赤字なんです、赤字の責任は私にありますというのが社会通念上のルールだと思う。町民にもきちっと説明をお願いすべきではないか。そこらへんは真摯に受け止めていただきたい。

Q 柳原 ホテル日の出岬運営支援補助金、年度当初にこのような形で補助金が補正されることに驚く。全員協議会でも説明があったが納得できなかった。ホテル設置条例には目的として「本町の地域住民の健康増進と観光の振興に寄与するため」とある。補正の根拠として挙げている「収支改善計画」「経費節減対策」は設置条例の目的に合致していない。年度当初に300万円の補正をあげる感覚は理解できない。

今回の助成は収支改善計画のひとつだと言うが、これは300万円欲しい理由を言ってきている。健康増進で福祉に寄与するならもっと早くから見積ればいいし、観光振興への寄与なら町外の方の値段を上げるのはおかしい。

A 税財管理課長 確かにコロナ禍や燃料高騰などで多額の補助金を入れてきた。今回補正をあげたのは、ホテル側も収支の計画を立てる時期であるため。町側から「町内利用者のワンコイン維持」を要請し、値上げしない代わりに得たであろう金額として300万円補助することになった。この時期でなければできなかった。 ↗

Q 柳原 指定管理者と町長で利用料金は協議することになっているが、今はどちらとも町長。これでは町長が勝手に決めるのと一緒。

A 税財管理課長 ホテルの株主総会で計画についても諮られるため、予算の裏付けがないと計画として言うことができない。

A 町長 値上げは7月1日から予定している。650円は安いという話もある。町民のワンコインは維持したい。

Q 柳原 結局、足りなければ後で補正する。これではホテルの経営改善は図られない。この時期の補正はおかしいし、余計に赤字が膨らむ。あくまで私の意見だが、このまま突進したら逆行する。入浴時間の変更は混乱を招くし、しっかりした監査を置かないと経営も行き詰まる。

お金の投入はやむを得ないが、しっかりとした株主総会・取締役会を開催してほしい。いろいろな声を取り入れてほしい。

A 町長 町として、町長としてというよりも社長として立て直したい。

雄武町議会活性化事業について

令和4年度までの議会活性化事業決算額	
(1)タブレット機器の購入費用	合計 ¥3,042,060
①議員10台+議会事務局1台 (iPad Pro+Apple Pencil+キーボード)	¥2,788,060 1台あたり ¥253,460
②SideBooks (iPad用クラウドソフト)	¥254,000
(2)議会録画配信のための費用	合計 ¥795,740
①録画配信業務セットアップ費 (録画用中古カメラ2台+備品)	¥597,740
②録画配信業務 (3月定例会一般質問録画中継)	¥198,000
(3)議会広報関係DTPシステム費用	合計 ¥710,868
①DTP用パソコン一式	¥599,500
②DTPソフトウェア年間使用料 (Adobe社アプリケーション)	¥111,368

令和5年から各議員に貸与という形でタブレットが使われるようになります。議会では議案やそれに付随する説明書など膨大な紙資料がその都度配布されます。タブレットを導入することで、紙・印刷コストが不要となるほか、資料の印刷や製本、差し替え作業などの事務的負担も軽減でき、業務の効率化にも貢献できます。タブレット配布に伴い議場での議案閲覧、調査のための利用、オンラインミーティングなど、今ま

令和5年度の議会活性化事業予算額	
(1)タブレット機器の維持費用	合計 ¥396,000
①SideBooks年間基本料	¥264,000
②SideBooks年間ライセンス料	¥132,000
(2)議会録画配信のための費用	合計 ¥792,000
①録画配信業務(定例会4回分)	¥792,000
(3)議会広報関係DTPシステム費用	合計 ¥101,244
①DTPソフトウェア年間使用料 (Adobe社アプリケーション)	¥101,244

で以上に議員としての仕事の効率化を図ることが可能となります。また、将来的には議場に大型モニターを導入し、タブレット端末からのプレゼンテーションも可能になり、今までは言葉のみの一般質問などがより視覚に訴えるものになっていくことが期待できます。

この3月からスタートした議会録画配信は、2000万円以上かかる議会中継システムを導入せず、各定例会につき198,000円の費用で録画・編集・YouTubeへのアップロードまでを津別町の道東テレビとの契約で実現したものです。訓子府町と置戸町の両議会でも道東テレビは同じ業務を行っており、そのノウハウを学び、中古で購入した2台の高性能テレビカメラとDTPパソコンを使い将来的には議会事務局で配信業務を行いたいと考えています。

その他の採決結果 ※一部抜粋

3 月 定 例	第6期雄武町総合計画後期基本計画 <small>条例の規定により議会の議決を求めるもの。※令和4年第8回定例会にて特別委員会付託されたもの</small>	可決 (異議なし)
	令和4年度一般会計補正予算(第12号) <small>漁業振興基金積立金の増、ホテル日の出岬雇用維持・経営安定化対策補助金の増など。(+6690万3千円)</small>	可決 (異議なし)
	雄武町職員の高齢者部分休業に関する条例の制定 <small>職員の定年引上げに伴い、高齢職員の加齢による身体的な事情等に対応するもの。</small>	可決 (挙手多数)
	雄武町地域公共交通活性化協議会条例の制定 <small>法律の規定に基づく協議会の設置にあたり、条例の制定が必要となるもの。</small>	可決 (異議なし)
	雄武町出産祝金条例の制定 <small>子育て応援事業新生児特別給付金に代わり、子どもの出産・誕生を祝う出産祝金10万円を支給するもの。</small>	可決 (異議なし)
	雄武町中小企業等融資あっせん条例の一部改正 <small>令和5年3月31日までだった同条例の有効期限を、令和8年3月31日までに改正するもの。</small>	可決 (異議なし)
5 月 臨 時	雄武町立学校の設置に関する条例の一部改正 <small>通所児童の減少により学校運営が困難とし、共栄小学校を廃校するもの。</small>	可決 (異議なし)
	令和5年度一般会計補正予算(第2号) <small>ホテル日の出岬運営資金補助金の増など。(+908万8千円)</small>	可決 (挙手多数)

賛否が分かれた議案

議員ごとの賛否内訳と審議結果

○…賛成 ×…反対 欠…欠席 ■…討論

―…議長 ※議長は賛否同数の場合のみ裁決を行います

議案名	議員名									審議結果	
	佐藤 寧	柳原 浩之	金田 壽夫	遠藤 友宇子	溝田 昌志	嶋村 義文	福原 峯雄	長野 誠	橋詰 啓史		
【3月・第1回定例】雄武町職員の高齢者部分休業に関する条例の制定について	○	×	○	○	○	○	○	○	―	可決	
議案名	議員名									審議結果	
	田中 久実	今泉 理	高橋 誠	佐藤 寧	柳原 浩之	金田 壽夫	遠藤 友宇子	溝田 昌志	嶋村 義文		橋詰 啓史
【5月・第2回臨時】令和5年度雄武町一般会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	―	可決

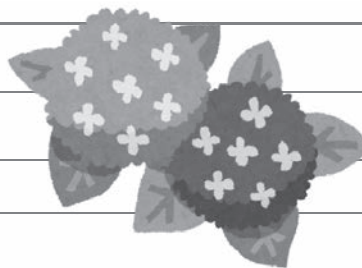
12月

議 会 日 誌

8～9日	第8回定例会開催
26日	第16回広報特別委員会開催

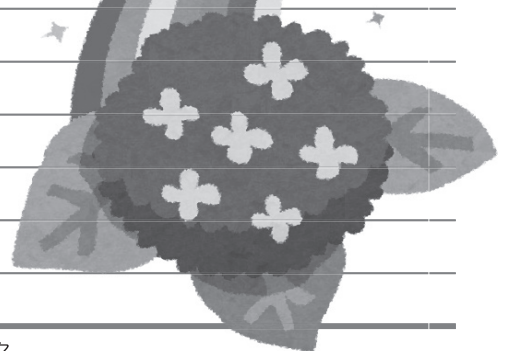
1月

1日	令和5年雄武神社元旦祭出席、議長
9日	令和5年雄武町二十歳の集い出席、議長ほか1名
13日	第1回議会広報特別委員会開催
17日	第2回議会広報特別委員会開催
25日	第3回議会広報特別委員会開催
31日	全員協議会開催



2月

2日	総合計画後期基本計画審査特別委員会開催
4日	令和4年度武雄市児童交流訪問団来町に伴う雄武町歓迎会出席、議長外ほか名
//	オホーツク海域の安全安心を考える講演会（紋別市）出席、議長
//	令和4年度武雄市・雄武町児童交流事業歓迎夕食交流会出席、議長
9日	総合計画後期基本計画審査特別委員会開催
//	第1回議会活性化調査特別委員会開催
13日	くぼあき雄太連合後援会事務所開き（紋別市）出席、議長
14日	議会運営委員会開催
20日	陸上自衛隊第25普通科連隊冬季訓練激励、議長
28日	全員協議会開催
//	議会運営委員会開催



3月

1日	雄武高等学校令和4年度卒業証書授与式出席、議長ほか5名
//	遠軽地区広域組合行政視察受入、議長

編集あとがき

4月23日執行の「雄武町議会議員選挙」は定員10名のところ11名の立候補者となり選挙投票が行われました。初議会は5月9日に行われ、議長、副議長、各所管事項について話し合う委員会構成も新たに編成されました。

このたび、私たち4名が議会広報特別委員として議会だよりの編集発行にあたることとなりました。

4年前に比べると議会だよりを読んでいるとびっくりくださる方の声も増えており、私達も編集の士気が高まっています。今後とも工夫をしながら、もっとわかりやすく読みやすい、愛着を持っていただける広報紙になるよう努めてまいります。

ご意見、ご感想、議会広報紙に関するみなさまのアイデアをぜひお寄せください。

議会広報特別委員会

委員長	遠藤友宇子
副委員長	田中久実
委員	佐藤寧
委員	今泉理